

さわがせ

号数 第 3 2 5 号
発行日 令和 3 年 12 月 1 日
発行所 金光教 韮 教会
〒 550-0011
大阪市西区阿波座 2-2-10
TEL&FAX 06(6541) 6313
mail : kagiyama2001@ybb.ne.jp



生神金光大神大祭に玉串奉奠される参拝者代表者(10月24日)

不足のないボランティア

教会長 鍵山 公 生

新聞紙一枚でも

今年の2月には、二代韮教会長・和田こゆみ先生の50年祭をお仕えさせていただきありがたいことでした。先生から教えられたことで忘れられないことの一つに次のようなことがあります。

その昔、戦争で大勢の方々が焼け出され、これからの生活をどのように進めていけばいいかと思案しておられる人々に、このときこそ金光様のお道により助けさせていただきたいと、御年59歳の女性が奮起し、一人で再布教されたのです。

当時まず必要なことは食べる事です。そこで焼け跡を耕し、薩摩芋やカボチャなどを植え、自給自足に徹するのです。しばらくして私が先生のお側で生活をさせていただくようになった時のことです。



当時野菜などを買いに行くと綺麗な紙やビニール袋ではなく、新聞紙に包んでくれるのでした。そのしわになった新聞紙を広げながら、「こうして新聞紙一枚でも集めて屑屋さんに渡せば、炊き直され、もう一度お役に立ちまっしゃろ、別にお金をもらわんでもええんや」と一切のものを粗末にしないようにと教えられました。このことは私の心に深く染みついて残っています。

物資が溢れるばかり出回っている今の世の中で、新聞紙一枚の値打ちなど問題にはなりません。しかしこの物を粗末にしてはならないという心は大切なことです。

最近では物資の再利用を言われるようになり、市のゴミ回収にリサイクルの日があるくらいになりました。資源には限りがあるからです。

数年前から私もリサイクルに取り組んでいます。その内容は、古新聞紙や段ボール、時にはアルミ缶などを持参される方があり、まとめて回収業者に持参しています。

その取り組みについて信奉者の方や、ご近所の方に話すと、協力してくださる方ができてきました。ある方はその方の近所の建築現場や、お店から出る段ボールなどをもらったりして持参してくださいませ。教会近くの自動車修理会社の前に積み上げられている鉄くずを見て、店主に声を掛けると、「それは処分代を支払っているんで、持ち帰ってもらえば助かる」と言われ、喜んで譲っていただいています。



↑ボランティアに取り組む教会長先生

業者へ運搬する車のガソリン代も必要ですし、物品の仕分け、そして労力の割には収益はほんの僅かです。収益のことだけを言えば、どこかのお店にアルバイトでも行った方がよほど多くのお金になることでしょう。とは言っても、80歳近くの年齢になって雇ってくれるところもないでしょうが。

このボランティアをしながら、そういった話も出るのですが、それよりもこのことによって、多くの方が助かるといって喜んでくださるし、年寄った者がすることがなく、自宅で暇をもてあましている人も多く、そのことを思えば健康な体があれば、体を使って人のお役に立てたらありがたいと話合っているのです。

お金を拾わせてやる

金光様が御取次をされるようになってからある日のこと、神様から、「明日はお金を拾わせてやるから、朝早く起きて、西へ向かってゆけ」

と神様からお知らせがあり、弁当を持って笠岡方面にまで行かれました。しかしお金は落ちておらず、神様のお指図で昼食をとり、しばらくして、帰るようにとの御神命のままに、日暮れ近く自宅に戻られました。そして家のご神前で一日のお礼を申し上げられると神様から、「どうだ、お金が落ちていたか」と尋ねられ、金光様は、「いいえ落ちていませんでした。しかし今日は、銭金に代えられないほどのおかげを頂きました。」と応えると、神様から「それはまたなぜか」と訪ねられ、「はい、常日ごろ広前に座っておりますが、きょうは久しぶりに遠くまで出かけさせてもらいました。ありがたいことでした。」と申し上げるのです。そこで神様は、「その方は、どちらから仕向けても、よいほうへ受け取る。その方の気持ちがよく分かった」と告げられた。というお話がございます。

欲を離してお取次のご用に立たれた金光様が、「お金を拾わせてやる」と言われても、拾いに出かけるとは考えにくいことと思われそうですが、そこは実意で素直な金光様は神様の仰せを守り従われたのです。そして結局お金は落ちてないし、無駄な一日であったわけです。普通であれば不足の一つも言いたいところですが、農業を辞め、お結界に座られるようになって、運動不足になるところを、健康のおかげをいただくことができたとお礼申し、神様を信じ切った生き方をしておられるのです。

そのようにどんなことでも悪く受け取られない金光様の御心に、神様は「その方の気持ちがわかった」と仰せなのです。

そのご事績を思い出し、ボランティアにあっても、私たちは人のお役に立たせ

さわかぜ賛助会員募集

韃教会機関紙「さわかぜ」は、皆様のお祈りとお力添えによりまして、令和3年度は7回の発刊が出来、教会内外のお役に立たせていただいて参りました。皆様からご意見や感想をお寄せいただき、より立派で楽しい機関紙にお育ていただけますよう宜しくお願いいたします。

さて、今年に引き続き、来年度の賛助会員を募集いたします。今後とも教会機関紙永続発展のため、皆様の絶大なるご協力をお願い申し上げます。

なお、一〇千円で、二〇以上ご協力下さい。

申込はなるべく、12月末日までをお願いいたします。

郵便振替口座番号 00950-3-61515
口座名義 金光教韃教会

ていただこうと考えたなら、不足心を持たぬよう、有り難く、楽しく取り組ませていただかねばと思わせていただくのです。

ちりも積もれば

今年はコロナ感染症のため参拝者が少なく、その暇を生かすことができました。そのようにして集まった費用は広前に置かれている「愛の募金箱」に納入します。おかげで塵も積もれば何とかで、直接募金された費用と合わせて10万円を超えました。これらは例年通り日本赤十字社大阪支部と、ご本部金光図書館内にある「青い鳥点訳グループ」に寄付する予定です。ご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。

令和3年12月

1日(水) 月例祭並びに
初代教会長例年祭(78年)執行
午後2時

5日(日) うりわり墓参 午前7時

11日(土) 月例祭執行 午前10時30分

12日(日) 布教功労者報徳祭 ご本部参拝

17日(金) 信徒共励会 午前10時

24日(金) 月例霊祭執行 午後2時

祭典後教話、木津教会 木津久典師

講題:「恩を知る」

30日(木) 越年祭、大祓式(ひとかた行事) 午前10時30分



↑境内では秋の陽気に誘われて、ハイビスカスと小菊が同時に咲きました(11月14日)



令和4年1月

1日(祝) 元旦祭執行 午前10時30分

2日(日) うりわり墓参 午前7時

8日(土) 御本部年賀参拝 午前6時出発

9日(日) 初月例祭執行 午前10時30分

祭典後、信徒会総会・新年会



地 鎮 祭

10月17日藤井寺市に住む、大西裕さん・智子さんご家族の新居が建築されることになり、教会長先生をご祭主に、地鎮祭が執り行われました。